

( 1 ) 実施機関名：

気象庁

( 2 ) 研究課題(または観測項目)名：

自己浮上式海底地震計観測による宮城県沖の地震活動

( 3 ) 最も関連の深い建議の項目：

1. 地震・火山現象予測のための観測研究の推進

( 1 ) 地震・火山現象のモニタリングシステムの高度化

イ. 地震発生・火山噴火の可能性の高い地域

( 4 ) その他関連する建議の項目：

1. 地震・火山現象予測のための観測研究の推進

( 1 ) 地震・火山現象のモニタリングシステムの高度化

ア. 日本列島域

( 5 ) 本課題の 5 か年の到達目標：

想定宮城県沖地震の震源域及びその周辺において自己浮上式海底地震計による地震観測を行い、その海域で発生している地震活動を詳細に把握するとともに、精度の高い震源分布を求める。また、震源決定手法の改良・高度化も行う。

( 6 ) 本課題の 5 か年計画の概要：

宮城県沖において 4 か月( 2 か月 2 回)程度の自己浮上式海底地震計による地震観測を実施し、地震データを蓄積するとともに、検測・解析処理を行う。

( 7 ) 平成 24 年度成果の概要：

平成 24 年度は、5 月、6 月、9 月の 3 回の観測航海により、宮城県沖を中心とした 21 点の海底地震計について設置、回収を作業行った。これらの作業により、2011 年 4 月から 2012 年 10 月にかけてのデータが回収されている。

データについては、今後、関係機関と連携して解析を進める予定であるが、昨年度に引き続き、東北地方太平洋沖地震の余震の詳細な分布が得られると記載される。

また、2012 年 12 月 7 日に、三陸沖において、ほぼ同時に 2 つの地震が発生しているが、これらの地震については、震源が陸から離れていることから、精度の高い解析はできていない。OBS 観測網はこの地震の震源に近く、現在観測中のデータにより、解析が進むことが期待される。

( 8 ) 平成 24 年度の成果に関連の深いもので、平成 24 年度に公表された主な成果物(論文・報告書等)：

( 9 ) 平成 25 年度実施計画の概要：

平成 25 年度においては、宮城県沖を中心に、東北大学との共同調査観測を 2 回実施する予定である。

( 10 ) 実施機関の参加者氏名または部署等名：

気象庁

他機関との共同研究の有無：有

東北大学

- ( 11 ) 公開時にホームページに掲載する問い合わせ先  
部署等名：地震火山部管理課 地震調査連絡係長  
電話：03-3212-8341 ( 内線：4514 )  
e-mail：jmajishin\_kanrika@met.kishou.go.jp  
URL：http://www.jma.go.jp
- ( 12 ) この研究課題 ( または観測項目 ) の連絡担当者  
氏名：斎藤 誠  
所属：気象庁地震火山部管理課